

国保データヘルス計画 の令和4年度評価

平成30年度に策定した第2期データヘルス計画の令和4年度の実施状況をお知らせします。

データヘルス計画とは？

市町村国保や健保組合などの医療保険者が持っている健康・医療情報（診療・医療費・健診データなど）を活用して、効果的で効率的な保健事業を実施するための計画です。

データヘルス計画の目的とは？

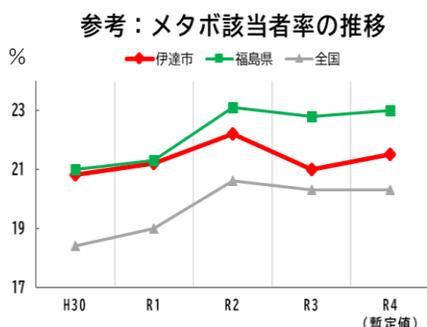
健康・医療情報を活用した保健事業を実施し、生活習慣病を予防することで、加入者の健康格差を縮小することや、健康寿命の延伸を目的としています。

達成すべき目標は？

中・長期目標(平成30年度～令和5年度)
医療費が高額で、長期入院、人工透析、介護認定の要因疾患である「脳血管疾患」「虚血性心疾患」「糖尿病性腎症」の減少

短期目標(令和4年度)
脳血管疾患などの共通リスクとなる「高血圧症」「脂質異常症」「糖尿病」「メタボリックシンドローム(メタボ)」の減少
▶1年ごとに短期目標を設定し達成状況を確認

令和4年度の達成状況は？



評価指標		H28年度	R4年度		比較	
		(基準)	(目標)	(実績)		
高血圧	Ⅱ度以上(未治療者)	人数(人)	125	125	132	▲ 7
		割合(%)	3.8	4.0	4.7	▲ 0.7
糖尿病	HbA1c6.5%以上(未治療者)	人数(人)	149	180	149	31
		割合(%)	3.0	3.8	3.5	0.3
脂質異常症	LDLコレステロール180mg/dl以上(未治療者)	人数(人)	172	144	133	11
		割合(%)	4.2	3.8	4.0	▲ 0.2
メタボ	該当者(2項目以上該当)	人数(人)	1,111	1,097	1,021	76
		割合(%)	20.2	21.0	21.6	▲ 0.6

令和4年度の伊達市国民健康被保険者の特定健診受診率は48.2%、約4,700人の人が受診しました。

メタボリックシンドローム該当者の割合は目標到達まであと一步のところでしたが、令和2年度以降、福島県平均より、該当者割合が低い状態が続いています。

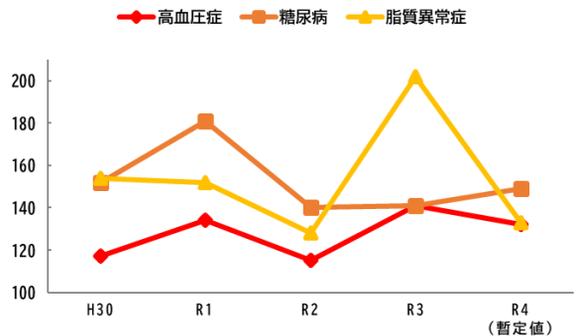
短期目標と中長期目標の達成状況の推移

短期目標の評価

「高血圧」「脂質異常」「高血糖」「メタボ」の減少

メタボ割合は大幅な増減はなく維持している状況です。令和3年度結果で大幅に増加した「脂質異常症」の未治療者数・割合は令和4年度は令和2年度並みに減少しました。

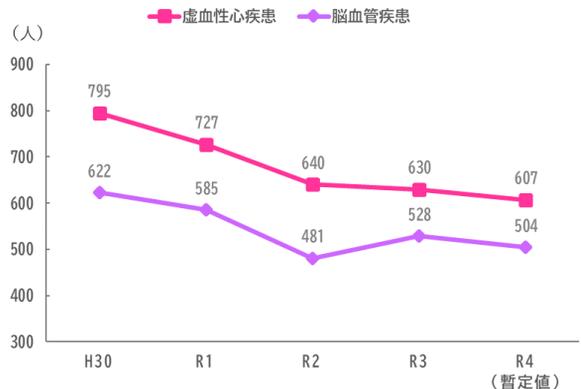
健診により異常値を見つけることができれば、早期に治療や生活習慣改善に取り組むことができます。



中・長期目標の評価

「脳血管疾患(脳卒中など)」「虚血性心疾患(心筋梗塞など)」「糖尿病性腎症(糖尿病の合併症の一つ)の減少

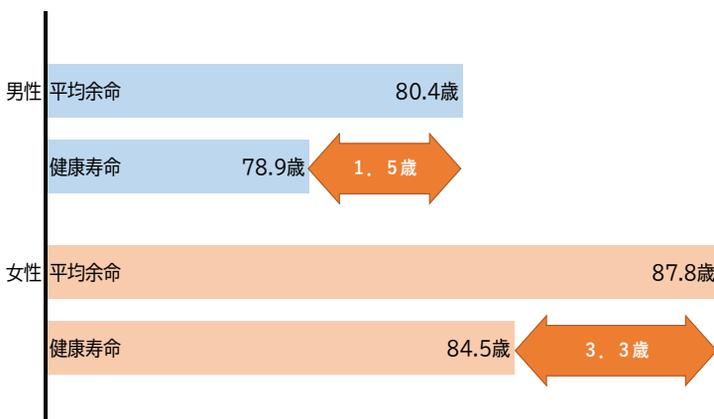
生活習慣病のうち脳血管疾患・虚血性心疾患の患者数は減少傾向が続いています。国保被保険者に占める、疾患率は4~6%を推移しています。



伊達市国保のデータヘルス計画の目的は「**健康寿命**の延伸」です

健康寿命 とは

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる生存期間のことを表します。健康寿命が伸びて、平均余命との差が縮小するということは、長期入院や介護を受ける期間が縮小することになります。医療費や介護費の家計への負担削減だけでなく、QOL (Quality of Life) = 「生活の質」の向上にも結びつきます。



平均余命と健康寿命の差の平均は女性3.3年、男性1.5年。この期間は見守りや手助けが必要になるということになります。この期間は、過去5年において、ほぼ変わっていません。

短期目標を達成することで、中・長期目標としている疾患を減少することができれば、最終目標である健康寿命の延伸につながります。